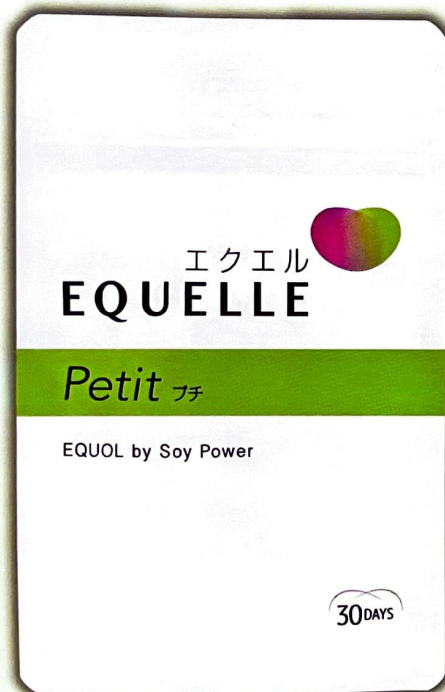


エクエル プチ概要

女性の健康と美容を応援する成分エクオール含有の「エクエル」に
粒を小さくした※「**エクエル プチ**」が誕生しました。

※当社比



60粒(1日2粒目安・30日分)

¥4,320

(メーカー希望小売価格・税込)

- 名 称**：S- エクオール含有大豆胚芽乳酸菌発酵物加工食品
- 原材料名**：大豆胚芽乳酸菌発酵物(国内製造)、
オーツ麦ファイバー、寒天／セルロース、HPMC、
着色料(酸化チタン、カラメルI)、タルク、微粒酸化ケイ素
- 内 容 量**：21.6g(360mg×60 粒)
- 保存方法**：高温・多湿・直射日光をさけてください。
- アレルギー物質**：**大豆**
(28 品目中)

- お召上がり方**：**1 日 2 粒を目安に**、水やぬるま湯などでお飲みください。
- ご注意**：開封後はチャックをしっかりしめてお早めにお召上がりください。過剰に摂取することはさけて、1 日の摂取目安量を守ってください。(本品の S- エクオールと大豆イソフラボンの総量をご確認頂き、イソフラボン含有する他の特定保健用食品などとの併用で過剰な摂取にならないようご注意ください。)妊娠・授乳中の方、乳幼児・小児は摂取しないでください。疾病などで薬を服用中あるいは通院中の方はご使用前に医師にご相談ください。また、体質や体調により合わない場合がありますので、その場合はご使用をお控えください。本品は、時間の経過により色調に若干変化が生じることがあります。また、湿気により粒にひび割れを生じることがありますが品質に問題ありません。

製品に関するご質問・ご相談は お客様相談室(エクエル専用窓口) **0120-008018** 通話料無料/9時~12時30分 13時30分~17時受付 ※土・日・祝日・休業日を除く

2023.12.61837

エクエル プチ

こちらの資料は、
お客様への
配布用ではありません

特長1 世界で初めて※1発見された「エクオールを産生する乳酸菌」で、
大豆を発酵させて作ってます

※1 大塚製薬調べ

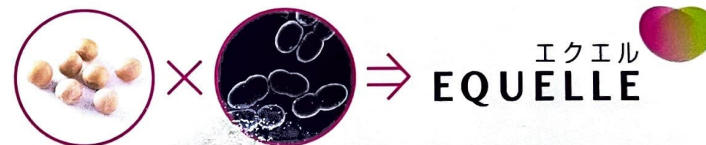
特長2 大豆胚芽の栄養成分がまるごと入っています

特長3 エクオール10mgが1日の目安2粒で摂れます

特長4 小粒※2で飲みやすい楕円形をしています ※2 当社比

大豆
(胚芽)

乳酸菌
(ラクトコッカス20-92)



「ラクトコッカス20-92」は、イタリアのチーズの中にも同種の菌が含まれていることがわかっている安全性の高い乳酸菌です。



60粒(1日2粒目安・30日分)

¥4,320

(メーカー希望小売価格・税込)

1日の目安	エクエル 4粒(2.6g)当たり	エクエル プチ 2粒(0.72g)当たり
栄養成分表示	エネルギー 11.4kcal タンパク質 0~1.2g 脂 質 0~0.8g 炭 水 化 物 1~2g 食塩相当量 0~0.02g	エネルギー 2.97kcal タンパク質 0~0.4g 脂 質 0~0.2g 炭 水 化 物 0.1~0.7g 食塩相当量 0~0.01g
	S-エクオール 10mg 大豆イソフラボン(アグリコンとして) 6.4mg	S-エクオール 10mg 大豆イソフラボン(アグリコンとして) 4mg

1粒当たりの大きさ
(原寸大)



長径 : 16.2mm
短径 : 7.5mm
厚さ : 7.2mm



長径 : 13.2mm
短径 : 6.2mm
厚さ : 5.5mm

製品に関するご質問・ご相談は お客様相談室(エクエル専用窓口) **0120-008018** 通話料無料/9時~12時30分 13時30分~17時受付 ※土・日・祝日・休業日を除く

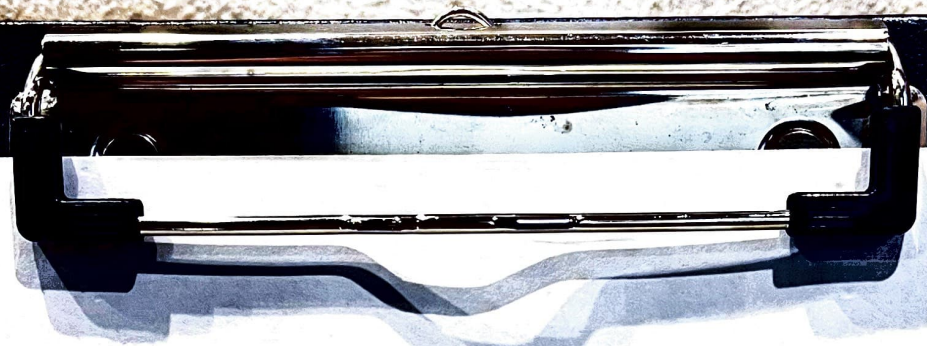
【エクエル プチ】

「EQUELLE (エクエル)」は、大塚製薬が世界で初めて大豆を乳酸菌で発酵させて作ったエクオール含有食品です。「エクエル」の成分は、大豆胚芽の成分とほぼ同じ。大豆のダイゼイン類がエクオールになったものが「エクエル」です。抽出、合成、濃縮は一切していません。

「エクエル プチ」は、そのエクエルより粒が小さく、1日2粒でエクオール 10mg を摂取することが出来るようになった、クリニック限定販売商品です。

女性の味方の「エクオール」

大豆イソフラボンが女性のからだに有用なことは、よく知られています。健康をテーマに長年大豆を研究してきた大塚製薬は、大豆イソフラボンが腸内細菌によって、代謝されてできる「エクオール」という成分に注目しエクオールが女性の健康と美容に大切な役割を果たしていることを明らかにしました。そして、40代以降の「ゆらぎ期」の健康と美容への貢献に期待さ



れています。

全国の婦人科クリニックで更年期障害に対して使用・最近では整形外科にてエクオールが手指の痛みは腫れに効果があるということが報告されるようになってから、更年期初期の関節症状に多く使われるようになりました。

当院でも手指の関節痛、腱鞘炎の症状を和らげる目的や更年期症状で多くの方にエクエルを服用していただいています。

エクエルに
「プチ」が誕生しました。



エクエル
EQUELLE

美しく生きる力、エクオールサブライ

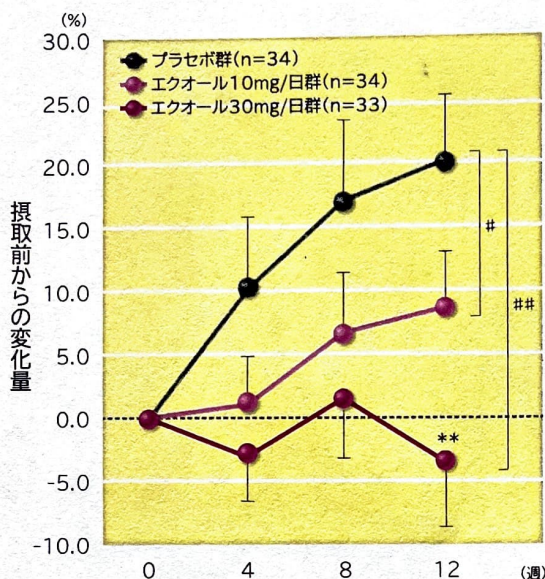


肌に対する効果

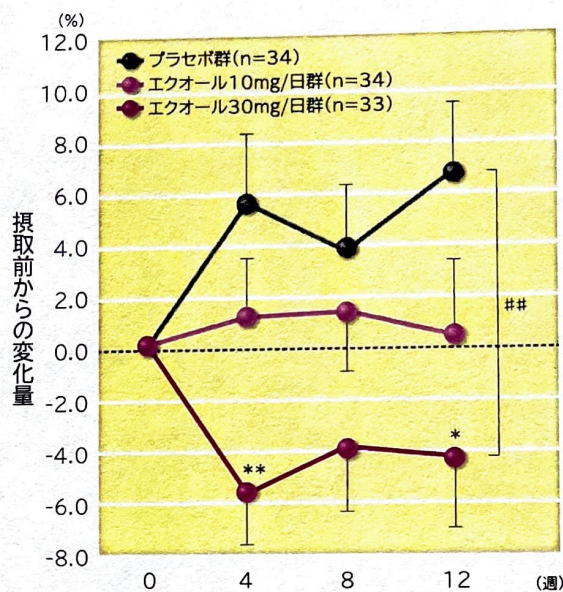
シワの面積率と最大深さに対する改善が認められました

二重盲検群間並行比較試験

シワ面積率の変化(目尻)

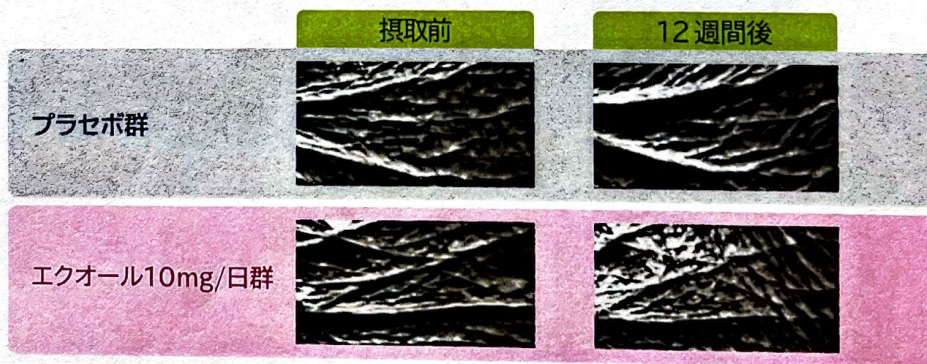


シワの最大深さの変化(目尻)



Mean±SD *P<0.05, **P<0.01 (vs プラセボ群) ANCOVA #P<0.05, ##P<0.01 (vs プラセボ群) Dunnett検定

レプリカ像(目尻のシワ)



対 象: 閉経後5年未満のエコール非産生者101例

方 法: 対象者をプラセボまたはエコール10mg/日、30mg/日のいずれかに無作為に割付け、12週間の摂取による肌パラメーターの変化について検討しました。肌パラメーターは人工気象室(温度: 21±1℃、湿度: 50±5%、20分間安静)で測定し、左右の目尻のシワの面積率と最大深さをレプリカ法(ASA-03RXD)を用いて評価しました。

結 果: エコール10mg/日群および30mg/日群はプラセボ群と比較し、有意に目尻のシワ面積率の増加を抑制しました。シワの最大深さは、30mg/日群でプラセボ群と比較し有意に改善が認められました。

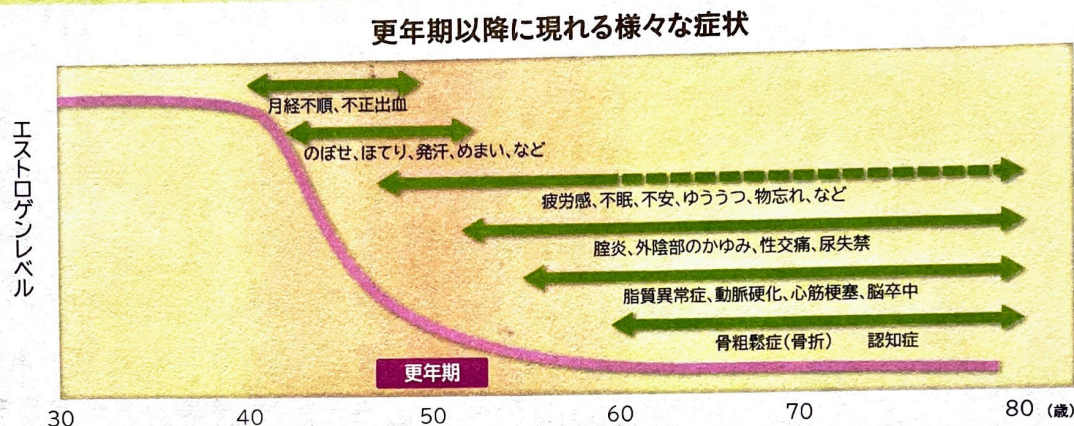
安全性: エコール10mg/日群の副作用として、帯下増加が2例(5.9%)、胸の張りが3例(8.8%)、不正出血が2例(5.9%)に認められました。また、30mg/日群の副作用として腹部膨満感が2例(6.1%)、胸の張りが2例(6.1%)に認められました。摂取前後で子宮内膜厚の測定、膣細胞診、マンモグラフィーを実施した結果、異常変動は認められませんでした。血清ホルモン濃度(E2, FSH, TSH, FreeT3, FreeT4)の測定を実施した結果、異常変動は認められませんでした。

※ SE5-OHIはエコール10mgの摂取を目的とした食品です。

Oyama, A. et al.: Menopause, 19(2): 202-210, 2012

更年期症状とエクオールの関係

更年期以降に出現する女性の症状や疾患には、
エストロゲンレベルの低下が関係するものが少なくありません



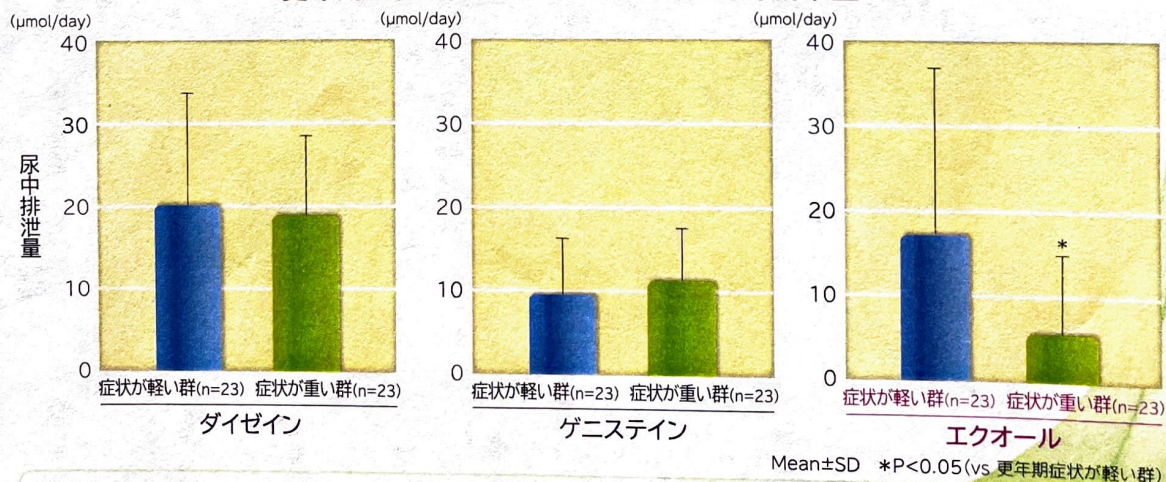
閉経前後におけるエストロゲンレベルの急激な低下は、月経不順やホットフラッシュなど更年期における様々な症状だけでなく、それ以降に発症する脂質代謝の異常や動脈硬化、骨粗鬆症などの原因の一つと考えられています。

野崎雅裕: 更年期と加齢のヘルスケア, 12(1):128-132, 2013(一部改変)

更年期症状の程度とエクオールの関連性が示唆されました

更年期症状の程度と大豆イソフラボンおよびエクオールの尿中排泄量の関連性について調査が行われました。

更年期症状の程度とイソフラボン類の尿中排泄量



対 象: 更年期の日本人女性46例

方 法: 対象者の更年期症状の程度を、簡易更年期指数(SMI)によりスコア化し、症状が軽い群(SMI≤15)と症状が重い群(SMI>15)に分け、24時間尿中排泄量を比較

尿中のエクオール排泄量は、更年期症状の軽い女性と重い女性との間に有意な差が認められました。一方、ダイゼインおよびゲニステインの尿中排泄量には有意な差が認められませんでした。このことから、更年期症状の程度は摂取した大豆イソフラボンとは無関係であり、その代謝物であるエクオールとの関連性が示唆されました。

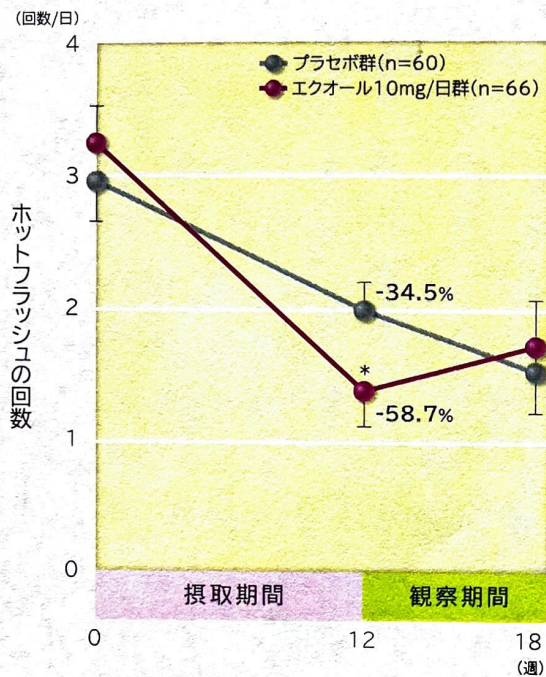
内山成人ほか: 日本更年期医学会雑誌(現 日本女性医学学会雑誌), 15(1):28-37, 2007

更年期症状に対する効果

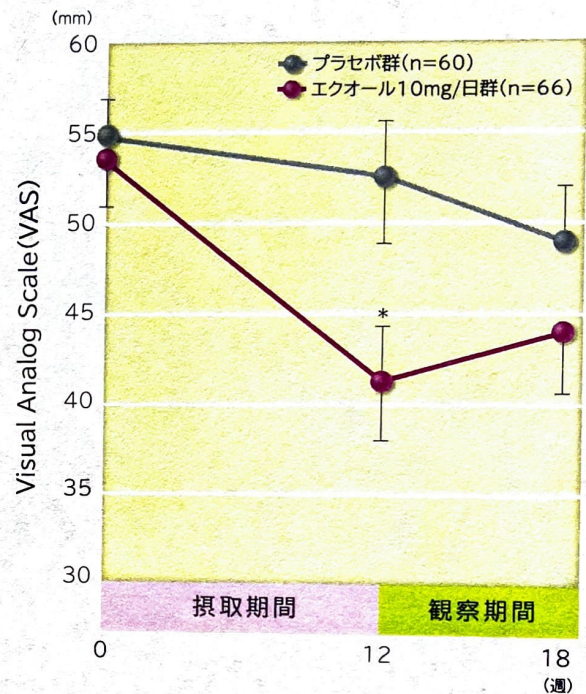
ホットフラッシュの回数の減少、首・肩のこりの程度の改善が認められました

多施設共同プラセボ対照ランダム化二重盲検比較試験

ホットフラッシュの回数の変化



首・肩のこりの程度



Mean±SE *P<0.01 (vs プラセボ群) ANCOVA

対 象:更年期症状を有するエクオール非産生者(閉経後10年未満、ほてり症状:1回/日以上)126例
方 法:対象者をプラセボまたはエクオール10mg/日に無作為に割付け、12週間の摂取による更年期症状に対する効果を検討しました。
 更年期症状は、ホットフラッシュを摂取開始時からの回数の変化、首・肩のこりを視覚的評価スケール(VAS: Visual Analog Scale)で評価しました。
結 果:エクオール10mg/日群はプラセボ群と比較し、有意にホットフラッシュの回数の減少と首・肩のこりの程度の改善が認められました。
安全性:試験期間中、プラセボ群で乳がんが1例に認められました。それ以外には重篤な副作用は認められず、安全性に大きな問題はないと考えられました。

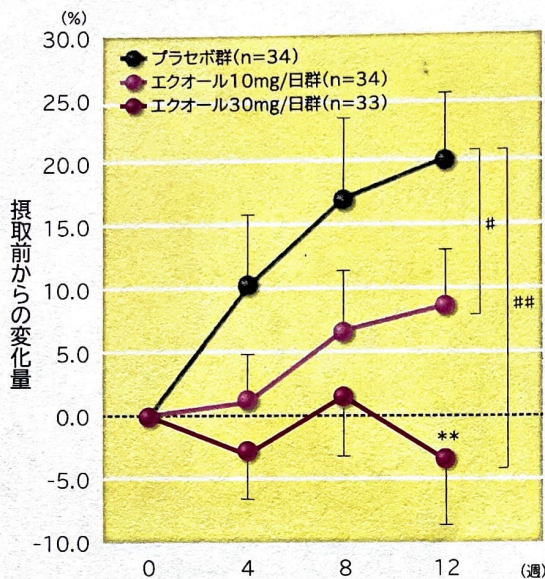
※ SE5-OHはエクオール10mgの摂取を目的とした食品です。

肌に対する効果

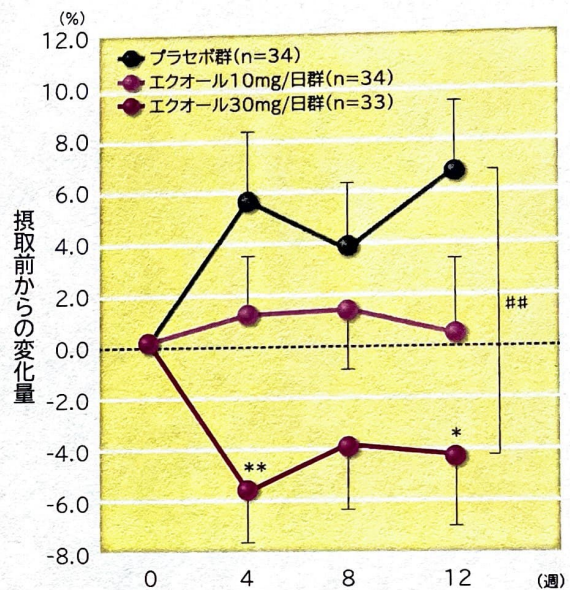
シワの面積率と最大深さに対する改善が認められました

二重盲検群間並行比較試験

シワ面積率の変化(目尻)

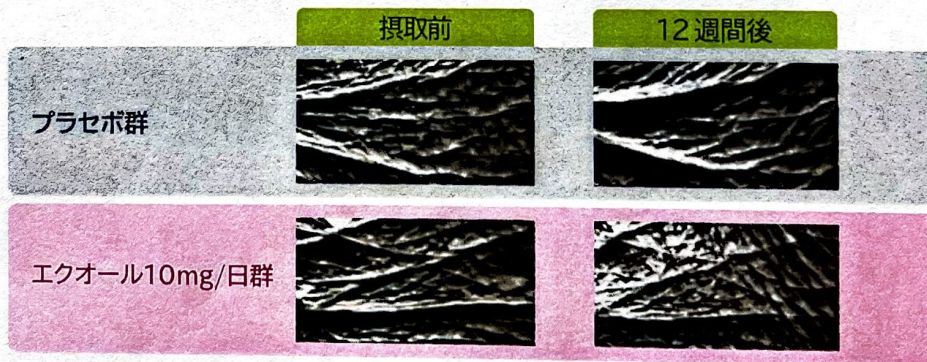


シワの最大深さの変化(目尻)



Mean±SD *P<0.05, **P<0.01 (vs プラセボ群) ANCOVA #P<0.05, ##P<0.01 (vs プラセボ群) Dunnett検定

レプリカ像(目尻のシワ)



対 象: 閉経後5年未満のエコオール非産生者101例

方 法: 対象者をプラセボまたはエコオール10mg/日、30mg/日のいずれかに無作為に割付け、12週間の摂取による肌パラメーターの変化について検討しました。肌パラメーターは人工気象室(温度: 21±1℃、湿度: 50±5%、20分間安静)で測定し、左右の目尻のシワの面積率と最大深さをレプリカ法(ASA-03RXD)を用いて評価しました。

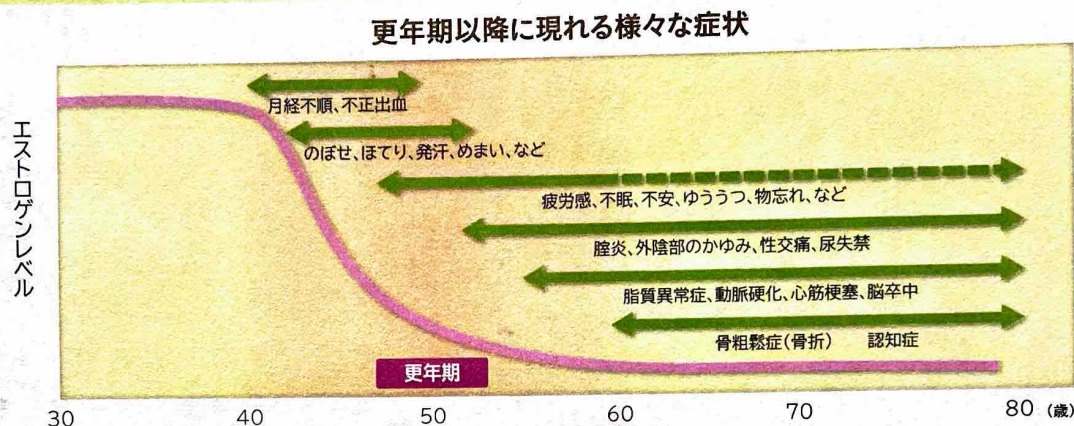
結 果: エコオール10mg/日群および30mg/日群はプラセボ群と比較し、有意に目尻のシワ面積率の増加を抑制しました。シワの最大深さは、30mg/日群でプラセボ群と比較し有意に改善が認められました。

安全性: エコオール10mg/日群の副作用として、帯下増加が2例(5.9%)、胸の張りが3例(8.8%)、不正出血が2例(5.9%)に認められました。また、30mg/日群の副作用として腹部膨満感が2例(6.1%)、胸の張りが2例(6.1%)に認められました。摂取前後で子宮内膜厚の測定、膣細胞診、マンモグラフィーを実施した結果、異常変動は認められませんでした。血清ホルモン濃度(E2, FSH, TSH, FreeT3, FreeT4)の測定を実施した結果、異常変動は認められませんでした。

※ SE5-OHIはエコオール10mgの摂取を目的とした食品です。

更年期症状とエクオールの関係

更年期以降に出現する女性の症状や疾患には、
エストロゲンレベルの低下が関係するものが少なくありません



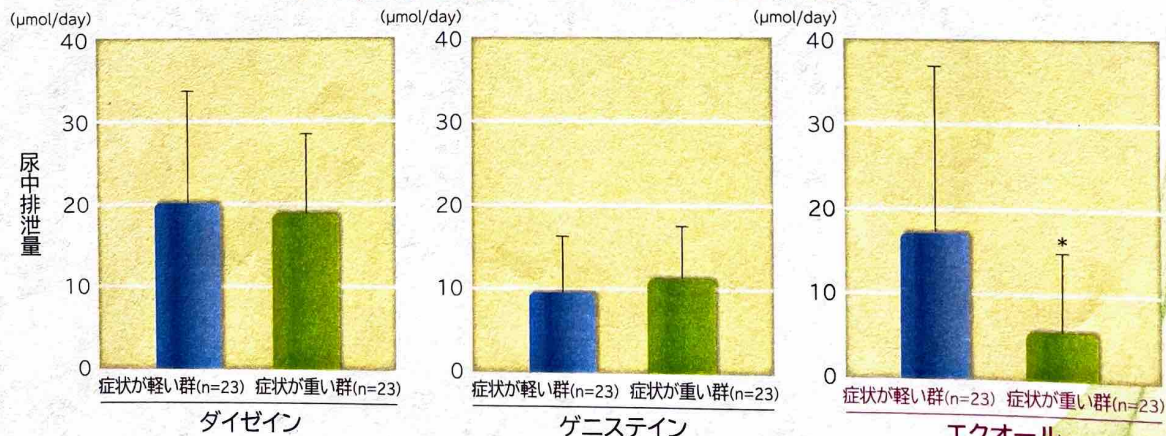
閉経前後におけるエストロゲンレベルの急激な低下は、月経不順やホットフラッシュなど更年期における様々な症状だけでなく、それ以降に発症する脂質代謝の異常や動脈硬化、骨粗鬆症などの原因の一つと考えられています。

野崎雅裕: 更年期と加齢のヘルスケア, 12(1):128-132, 2013(一部改変)

更年期症状の程度とエクオールの関連性が示唆されました

更年期症状の程度と大豆イソフラボンおよびエクオールの尿中排泄量の関連性について調査が行われました。

更年期症状の程度とイソフラボン類の尿中排泄量



Mean±SD *P<0.05(vs. 更年期症状が軽い群)

対 象: 更年期の日本人女性46例

方 法: 対象者の更年期症状の程度を、簡易更年期指数(SMI)によりスコア化し、症状が軽い群(SMI≤15)と症状が重い群(SMI>15)に分け、24時間尿中排泄量を比較

尿中のエクオール排泄量は、更年期症状の軽い女性と重い女性との間に有意な差が認められました。一方、ダイゼインおよびゲニステインの尿中排泄量には有意な差が認められませんでした。このことから、更年期症状の程度は摂取した大豆イソフラボンとは無関係であり、その代謝物であるエクオールとの関連性が示唆されました。

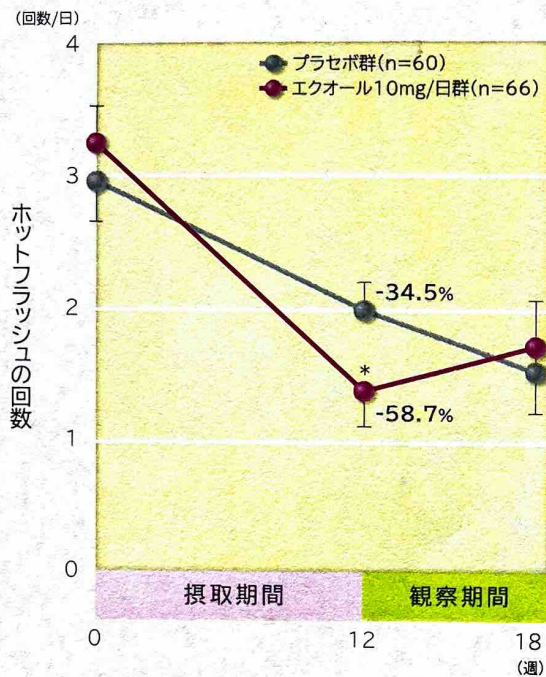
内山成人ほか: 日本更年期医学会雑誌(現 日本女性医学学会雑誌), 15(1):28-37, 2007

更年期症状に対する効果

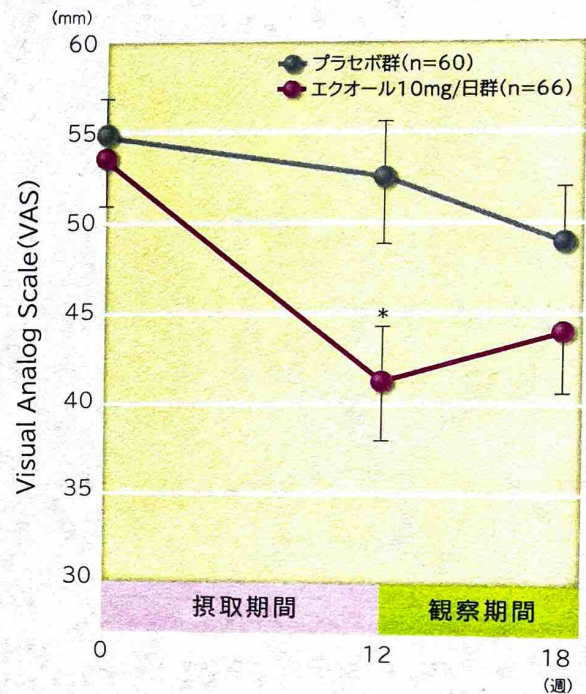
ホットフラッシュの回数の減少、首・肩のこりの程度の改善が認められました

多施設共同プラセボ対照ランダム化二重盲検比較試験

ホットフラッシュの回数の変化



首・肩のこりの程度



Mean±SE *P<0.01 (vs プラセボ群) ANCOVA

対 象:更年期症状を有するエクオール非産生者(閉経後10年未満、ほてり症状:1回/日以上)126例
方 法:対象者をプラセボまたはエクオール10mg/日に無作為に割付け、12週間の摂取による更年期症状に対する効果を検討しました。
 更年期症状は、ホットフラッシュを摂取開始時からの回数の変化、首・肩のこりを視覚的評価スケール(VAS: Visual Analog Scale)で評価しました。
結 果:エクオール10mg/日群はプラセボ群と比較し、有意にホットフラッシュの回数の減少と首・肩のこりの程度の改善が認められました。
安全性:試験期間中、プラセボ群で乳がんが1例に認められました。それ以外には重篤な副作用は認められず、安全性に大きな問題はないと考えられました。

※ SE5-OHはエクオール10mgの摂取を目的とした食品です。